

第二次調整計画会派意見・無所属むさしの

2024 年 12 月 18 日

無所属むさしの

さこうもみ、山本ひとみ

1 就労を含めた高齢者の社会参加の支援

- 市長公約は「年金＋5 万」であったが、就労で 5 万円を得ることが希望者全員に可能なのか、疑問は残る。「シルバー人材センターの事務局機能の強化」には賛成だが、このことで、どの程度就労時間やどのような分野が増えると考えているか聞かせていただきたい。
- 基本施策 7 に「リスクリングに取り組む事業者への支援の検討」とあるが、雇用・就労支援のためには企業や行政と働きたいひとやスキルとのマッチングに取り組む事業への支援にも可能性があるのではないか。

2 子育て世代への外出支援

- レモンキャブを子育て支援には使えないが、現状のタクシーに使える商品券での使用上の課題を明確にしていくことが必要である。
- 大型店舗での授乳やおむつ替えスペースは貴重な存在で、多くの店舗で広げていける取り組みが必要だと思う。
- 市民意見交換などでは、移動よりむしろ、街中で困っているときにサポートを得ることができる、邪魔だというような声や視線を向けられないことがない、などのソフト面の改善が必要だという声が多かったが、その点どう捉え、計画案に反映されたか。

3 今後の学校改築のあり方の検討

- 市長の公約を見て、二中六中の統合を白紙に戻すと考えた市民も多かったと思う。私の子どもも二小・六中出身だが、卒業生や保護者と会話し、学校に深い愛着を感じた。
- 計画案では、二小六中の統合に関する記述はトーンダウンしたが、これは統合への反対が根強くあることの反映と考えてよい。
- 子どもや教職員・保護者・地域・専門家の意見を聞くことは、必要であり賛成だが、二中六中の統合は教育的な効果や通学の距離等を考えると賛成できない。
- 「中学校の適正な数」という書き方では、統合について、実施の可能性はあると読めるが、統合を排除していないととらえてよい。
- 「将来を見据えた校舎のあり方」のなかには障害のある子ども、外国ルーツの子ども、などサポートが必要な子どもを含めたすべての子どもの学ぶ権利が守られる学校のあり方、と

いう視点が含まれているか。将来を見据えたという表現だと「人口の変化」などが想起されやすいように感じる、多様性の観点が伝わりやすい表現への変更を提案したい。

4 吉祥寺イーストエリアのまちづくり

- 駐輪場の場所の問題が、前市長の時代に大きな問題となっていた。この件での市の土地の売買契約は妥当と考えている。
- 本町コミセンの移転拡充は、エレベーター設置の条件ができるので賛成である。エレベーター設置は重要である。
- 施設内容として「中高生の世代の居場所」が明記されたことに賛成である。
- 駐輪場に関しては、一般論としては、駅近くに駐輪場があることで通勤や通学の利便性が高まると考えている。一方、建物内への駐輪場設置が困難で離れた場所に駐輪場を置くことも必要になっているとの考えも理解する。どちらも必要で、バランスを考えて設置するべきと考える。
- 吉祥寺エリアにおける「中高生世代の居場所づくり」はこれまで要望してきた内容であり、明記されたことを評価したい。また、この要望は特に中高生との意見交換会でも多くの当事者から声があがった部分でもある。彼らの声が計画に反映されたということを伝える方法については検討しているか。
- イーストエリアは環境浄化などの取り組みがなされてきた背景がある一方、若い世代の経営する個店なども多く、新しいチャレンジが増えているエリアでもある。新しいチャレンジがこれからも生まれやすい環境を守っていく、地域の高級化や過度な浄化政策による直接/間接的な排除「ジェントリフィケーション」への対策という視点も持つべきではないか。
- 自転車駐車場について、駅前から離れた場所への設置の文言が削除された、利用者の利便性の観点では駅前への設置の要望が多いことは認識しているが、人を中心とした「ウォーカブルシティなまちづくり」の推進を目指すためにも中心エリアに自転車を入れない施策は引き続き重要視すべきだと考える。

5 吉祥寺パークエリアのまちづくり

- 交通問題の解決が、何よりも優先課題である。また、公会堂のリニューアルも実行が望まれる。
- 「公共課題の早期解決」が書かれたことに賛成である。一方、この地域での高さ制限の緩和の考えがあるとするれば、武蔵野市のまちづくりにとって大きな転換となる恐れがあり、問題があると言わざるを得ない。「土地利用等の多様な視点」の記述が、高さ制限の緩和に向かうことの無いよう要望したい。
- 今後の店舗の内容として、性差別につながることの無いことが必要だと考える。
- パークエリアは吉祥寺駅と井の頭公園をつなぐ武蔵野市らしさを象徴するエリアのひとつだが、その「らしさ」を演出する要素には「緑」も大きな役割を担っているのではないかと考える。

地を含めた緑の保全についてもパークエリアの開発においては重要な要素として捉えたい。